

25年4～6月期のユーロ圏経済 は前期比+0.1%の低成長

欧州経済

- 25年4～6月期のユーロ圏実質GDP（域内総生産）は前期比+0.1%と、1～3月期の同+0.6%から伸びが大幅に鈍化した。
- 7月のユーロ圏の総合PMI（購買担当者景気指数）は50.9と2か月連続で上昇した。業種別には、製造業が49.8と前月（49.5）から上昇した。サービス業も51.0と前月（50.5）から上昇し、好不調の節目とされる50を2か月連続で上回った。
- 7月のユーロ圏消費者物価指数は前年比+2.0%と前月と同じ伸びとなった。またエネルギー、食品、アルコール、たばこを除くコア指数も同+2.3%と前月と同じ伸びとなった。
- 欧州中央銀行（ECB）は7月24日の政策理事会で、主要政策金利の中銀預金金利を2.0%に据え置き、24年7月以来、8会合ぶりに利下げを見送った。

本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に際しては、お客さまご自身の判断にてお取り扱いいただきますようお願いいたします。



横浜銀行グループ

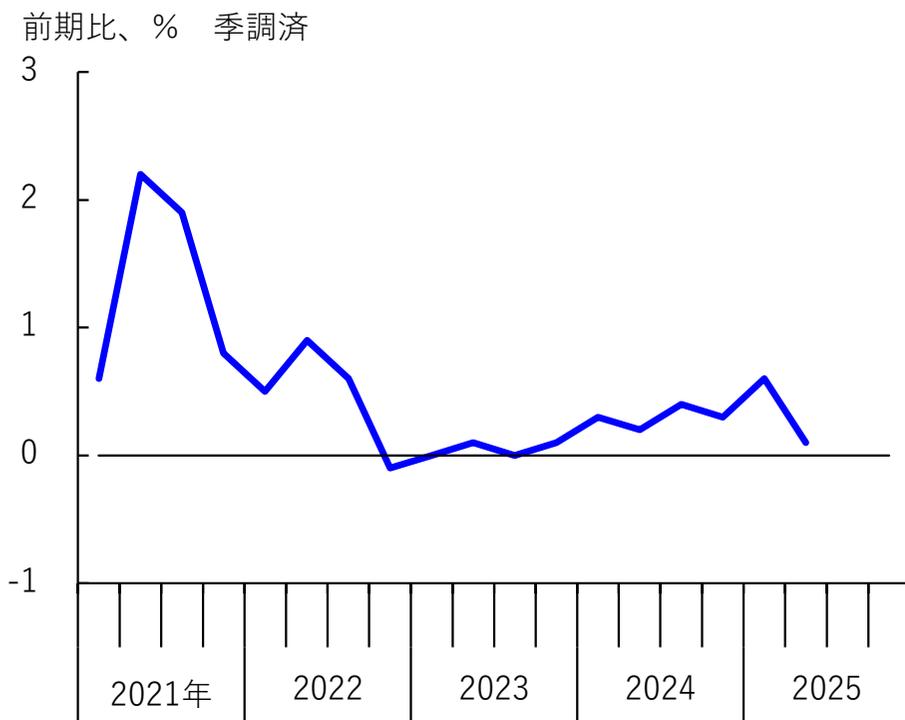
浜銀総合研究所

25年4~6月期の実質GDPは前期比+0.1%と伸びが大幅鈍化



- 25年4~6月期のユーロ圏実質GDP（域内総生産）は前期比+0.1%と、1~3月期の同+0.6%から伸びが大幅に鈍化した。
- 各国別ではドイツが前期比-0.1%、イタリアが同-0.1%と、いずれもマイナス成長に転じた。一方、フランスは同+0.3%と2期連続のプラス成長となり、スペインも同+0.7%と堅調に推移した。

ユーロ圏実質GDP



出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏主要国の実質GDP

季調済、前期比、%

	2024年		25年	
	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月
ユーロ圏	0.4	0.3	0.6	0.1
ドイツ	0.0	0.2	0.3	▲ 0.1
フランス	0.4	▲ 0.1	0.1	0.3
イタリア	0.0	0.2	0.3	▲ 0.1
スペイン	0.7	0.7	0.6	0.7

注:2025年4~6月期は速報値。

出所：欧州委員会統計局



- 25年6月のユーロ圏小売売上高指数は前月比+0.3%と再び上昇した。
 - －食品・飲料・たばこが前月比+0.2%、非食料品（除く自動車燃料）が同+0.6%、自動車燃料が同+0.4%といずれも上昇に転じた。
- 7月のユーロ圏消費者信頼感指数は-14.7（前月は-15.3）と、再び上昇（改善）した。
 - －国別には、ドイツやフランス、イタリアの消費者信頼感指数がいずれも上昇した。

ユーロ圏小売売上高指数



出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏消費者信頼感指数

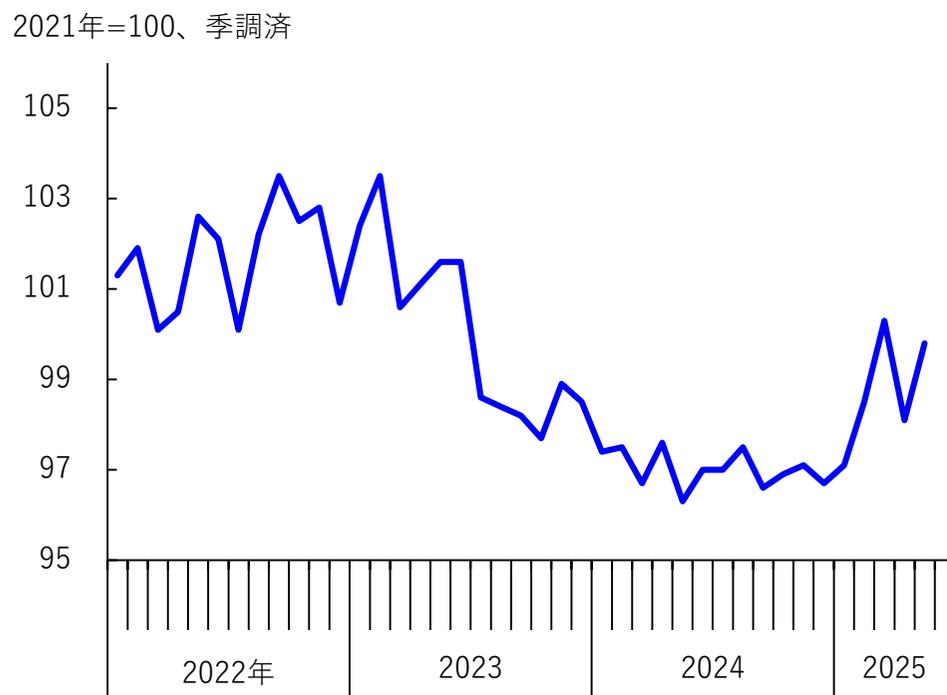


出所：欧州委員会



- 25年5月のユーロ圏鉱工業生産指数は前月比+1.7%と再び上昇した。財別にみると、耐久財の生産指数が前月比-1.9%と2か月連続で低下したものの、非耐久消費財（同+8.5%）やエネルギー（同+3.7%）などの生産指数が上昇に転じた。
 - －国別には、フランスが前月比-0.5%と2か月連続で低下する一方で、ドイツが同+2.2%と大幅な上昇に転じた。
- 5月のユーロ圏建設活動指数は前月比-1.7%と低下に転じた。
 - －国別にはドイツが前月比-3.9%と低下に転じ、またフランスも同-0.5%と3か月連続の低下となった。

ユーロ圏鉱工業生産指数



出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏建設活動指数



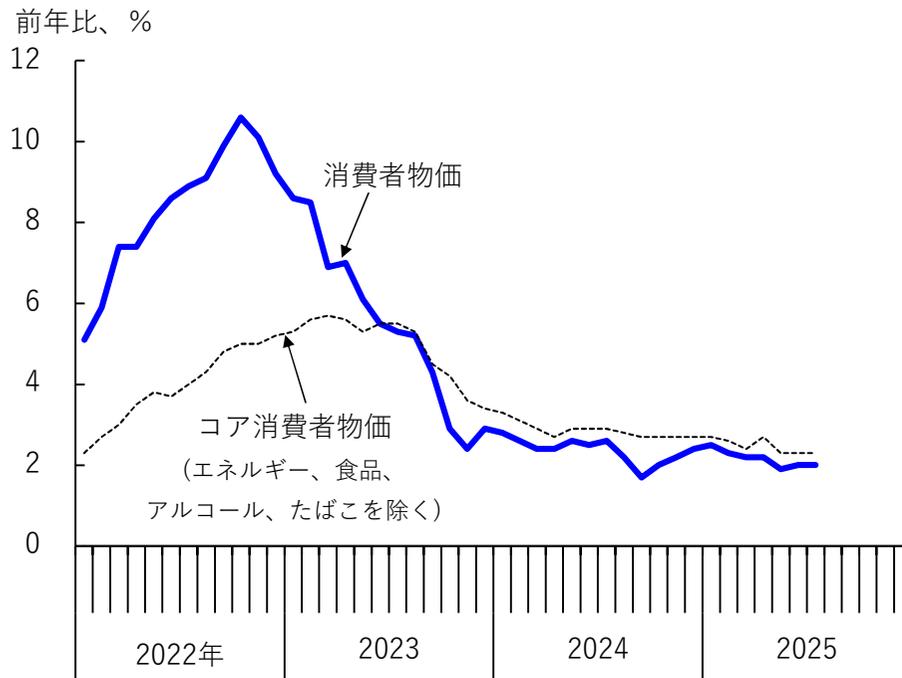
出所：欧州委員会統計局

7月の消費者物価は前年比+2.0%と前月と同じ伸び



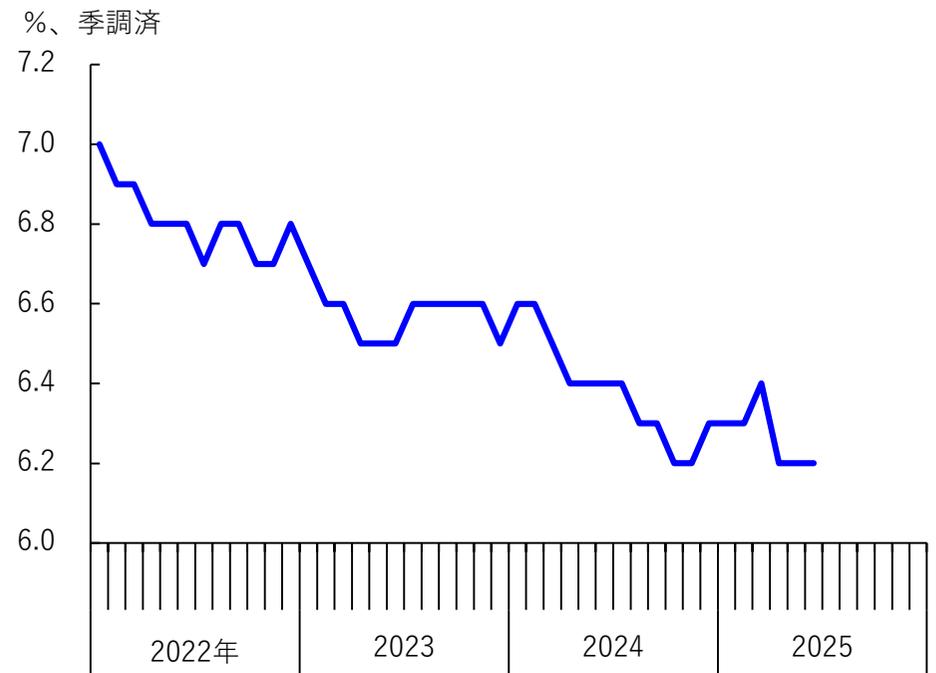
- 25年7月のユーロ圏消費者物価指数（速報値）は前年比+2.0%と前月と同じ伸びとなった。またエネルギー、食品、アルコール、たばこを除くコア指数も同+2.3%と前月と同じ伸びとなった。
 - 品目別には、飲食料（アルコール含む）が前年比+3.3%と前月（同+3.1%）から伸びがやや高まる一方で、サービスが同+3.1%と前月（同+3.3%）から伸びがやや鈍化した。エネルギーは同-2.5%と前月（同-2.6%）と比べて下落幅がやや縮小した。
- 6月のユーロ圏の失業率は6.2%と、前月から横ばい。

ユーロ圏消費者物価指数



注:2025年7月は速報値。
出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏失業率



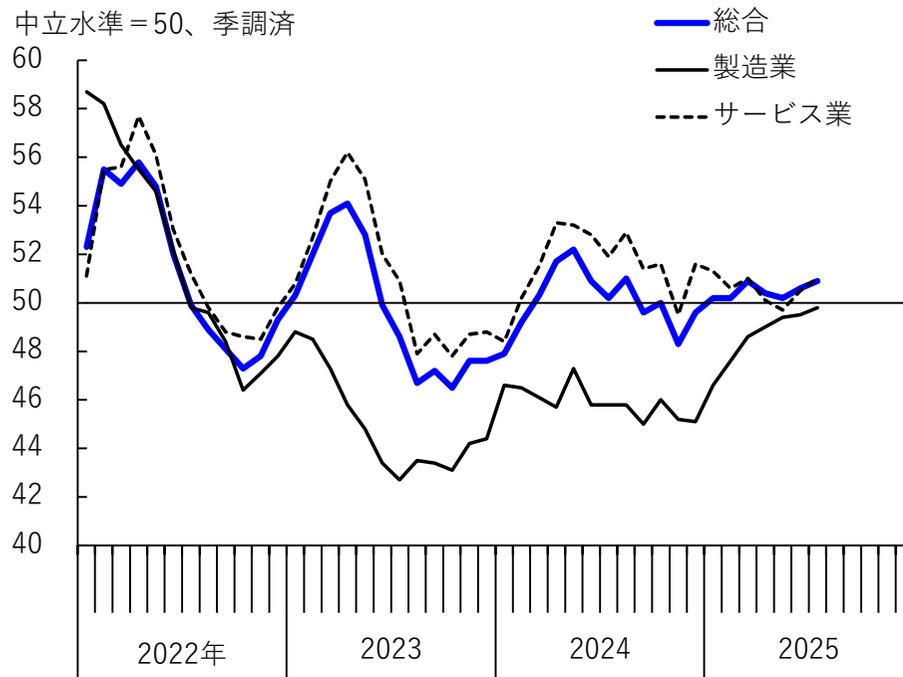
出所：欧州委員会統計局



- 25年7月のユーロ圏の総合PMI（購買担当者景気指数）は50.9と2か月連続で上昇した。業種別には、製造業が49.8と前月（49.5）から上昇した。サービス業も51.0と前月（50.5）から上昇し、好不調の節目とされる50を2か月連続で上回った。
- 7月の各国別の総合PMIをみると、ドイツが50.6と前月（50.4）から小幅に上昇する一方で、フランスは48.6と前月（49.2）から低下した。

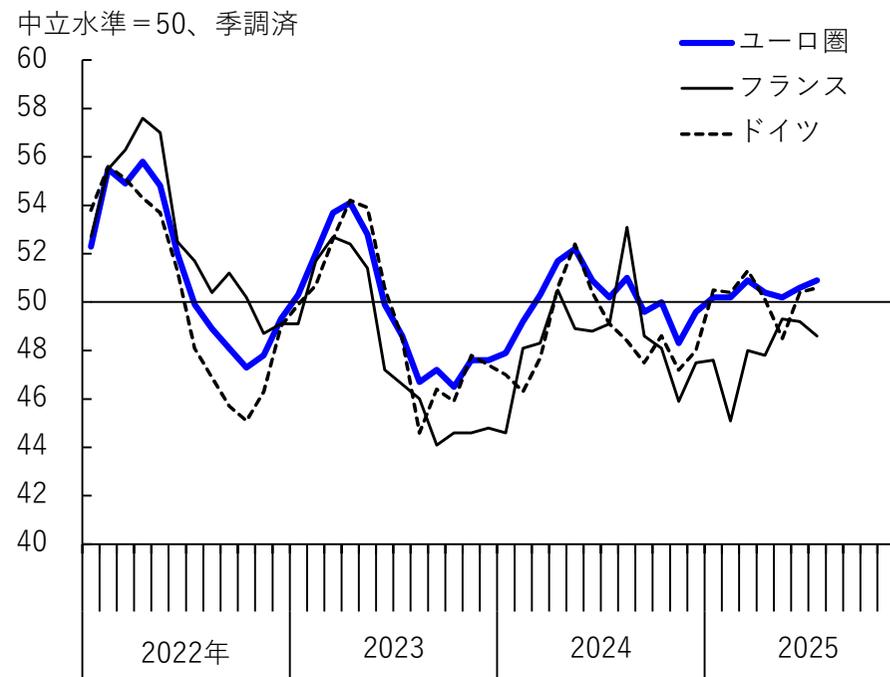
※ユーロ圏PMIの正式名称は、HCOB（ハンブルク商業銀行）ユーロ圏PMI。

ユーロ圏のPMI



出所：S&Pグローバル

主要国のHCOB総合PMI

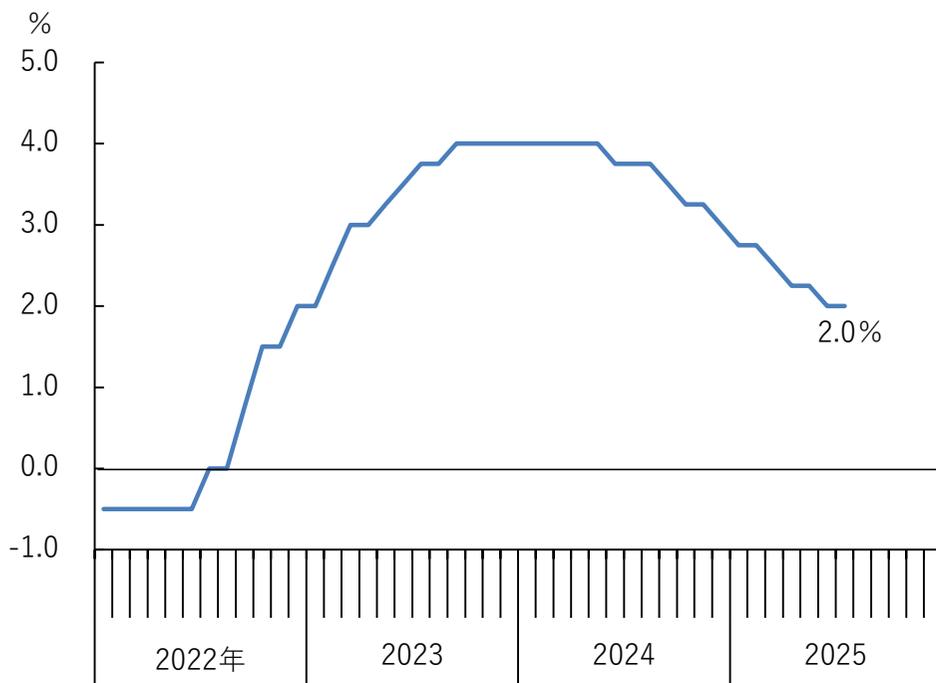


出所：S&Pグローバル



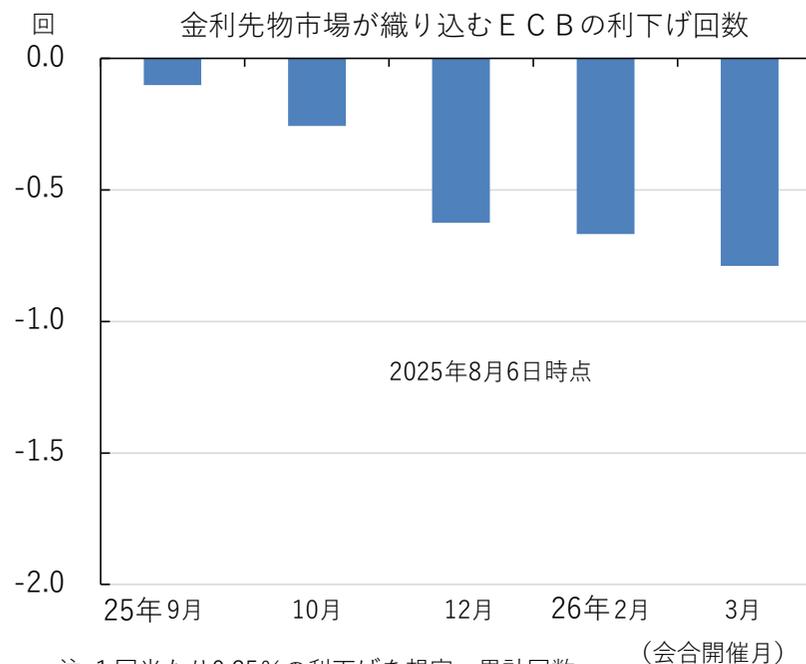
- 欧州中央銀行（ECB）は7月24日の政策理事会で、主要政策金利の中銀預金金利を2.0%に据え置き、24年7月以来、8会合ぶりに利下げを見送った。
 - － ラガルドECB総裁は理事会後の記者会見で、ECBは様子見の状況にあると語った。
 - － ラガルド総裁の発言などを受けて、金利先物市場ではECBが次回9月の理事会でも利下げを見送るとの見方が優勢となっている。

欧州中央銀行の政策金利（中銀預金金利）



出所：欧州中央銀行

金融市場の利下げ予想



注: 1回当たり0.25%の利下げを想定。累計回数。
なお利下げ回数のため、マイナス表記にしている。

出所：Bloomberg



浜銀総合研究所



調査部 特任研究員
北田 英治

浜銀総合研究所では、景気動向に関するレポートなどの発行情報をメールにてお知らせしています。ご関心のある方は、下記のサイトより、「レポート更新情報お知らせメール」（無料）にご登録ください。

【URL】 https://www.yokohama-ri.co.jp/html/inquiry/inquiry_repo.html?nno=5